

# 釧路市地域公共交通活性化協議会

平成28年3月22日設置



## 概要

釧路市では、平成29年6月に「釧路市地域公共交通網形成計画（現「釧路市地域公共交通計画）」を策定するとともに、令和元年9月には、「釧路市地域公共交通再編実施計画」（現「釧路市地域公共交通利便増進実施計画」。以下「現計画」という。）を策定し、これに基づき公共交通の維持及び利用促進に向けた施策を推進してきた。しかしながら、近年の人口減少、少子高齢化が加速度的に進展している状況に加え、コロナ禍の影響など、公共交通を取り巻く環境が大きく変化していることなどを踏まえ、目指すべき公共交通ネットワークのあり方についての検討が求められている。こうした公共交通を取り巻く社会環境の変化や関係法令の改正等を踏まえ、現計画の見直しに向けた基礎調査を実施し、調査報告書として取りまとめを行う。

### ○地域公共交通の現況

JR根室本線（釧路駅、東釧路駅、新大楽毛駅、大楽毛駅）、JR釧網本線（東釧路駅）、くしろバス（株）（市内32路線）、阿寒バス（株）（市内15路線）、デマンド型乗合タクシー（3路線）、自家用有償旅客運送（2路線）、タクシー（法人7社・個人25社）

### ○調査の主な内容

- ・地域間移動利用施策に関する現況把握と課題の抽出
- ・交通事業者の意向把握
- ・バス需要量の予測

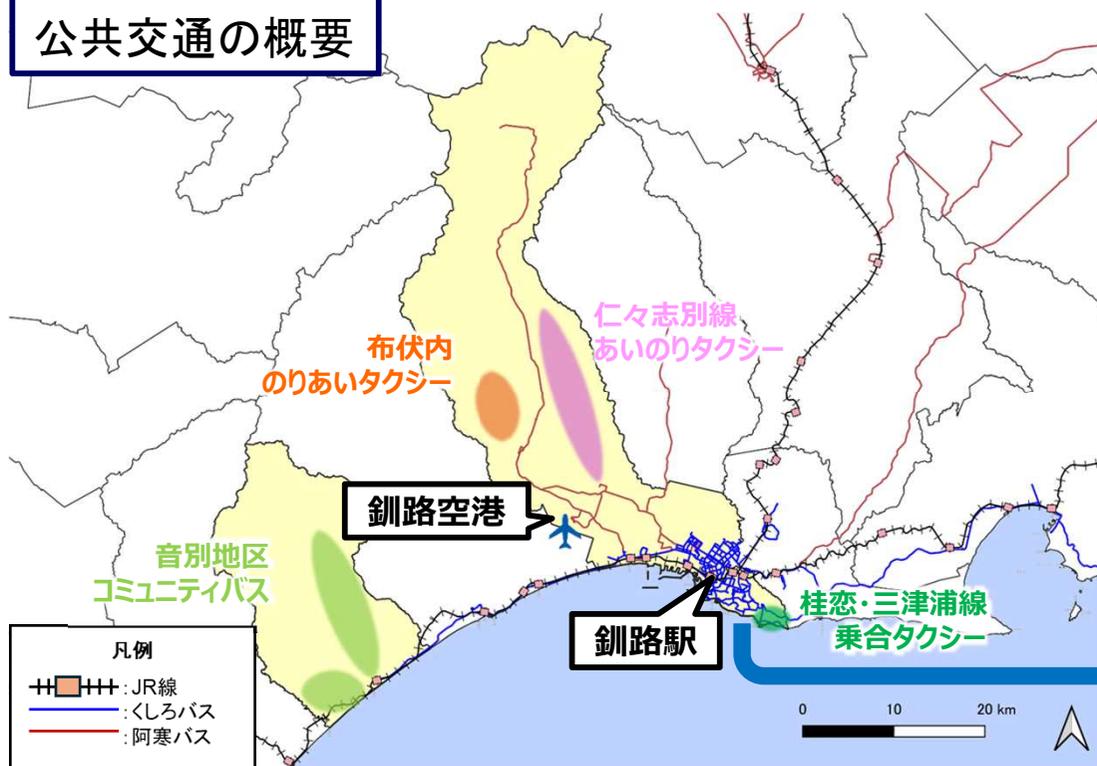
### ○地域公共交通の課題

- ①路線バスの運行効率化による最小限の公共交通サービスレベル確保
  - ②地域公共交通の維持に不可欠な担い手の確保
  - ③路線バスの維持困難な地域における新たな輸送手段の導入検討
- ※最終的な課題設定は今年度の調査を基に検討中

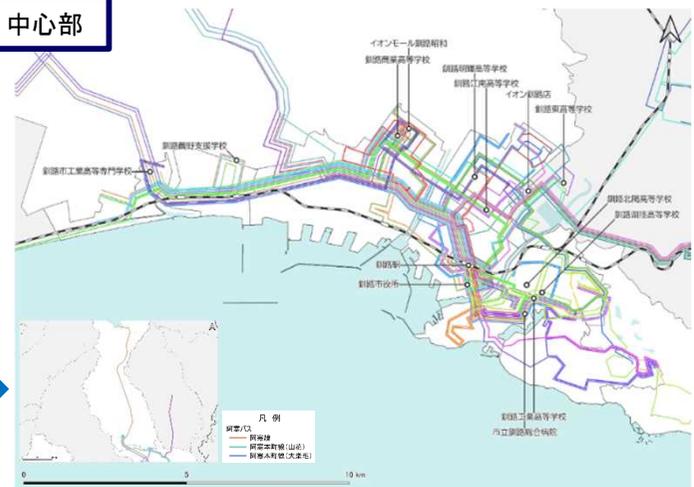
### ○地域公共交通活性化協議会開催状況

- ・第1回協議会 6月2日  
令和6年度事業報告及び決算・監査報告  
地域公共交通計画別紙（案）の協議・承認
- ・第2回協議会 8月6日（書面）  
運賃協議専門部会の設置について
- ・第3回協議会 9月2日  
バス路線の運行計画の変更  
地域公共交通計画及び地域公共交通利便増進実施計画の変更について
- ・地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価 12月25日～1月13日
- ・第1回専門部会 7月1日  
公共交通の利用実態・予測調査の方針及びスケジュールについて
- ・第2回専門部会 10月16日  
各調査結果の報告と釧路市公共交通課題の設定

## 公共交通の概要



### 中心部



# 釧路市地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

## ●事業の結果概要

### ○釧路市の公共交通に関する現況把握

現況のバス路線の整理を行うとともに、現況におけるバス路線別の収支状況および時間帯別の運行本数の整理を進めている。

### ○公共交通事業者の意向把握

バス路線網再編案の立案にあたり留意すべき条件・制約事項等を把握するため、バス事業者(2社)、鉄道事業者(1社)、タクシー事業者(協会および3社)を対象に、公共交通の維持方策や改善に向けた意向等についてヒアリング調査を実施し、その結果を踏まえた公共交通の課題整理を行った。

#### ヒアリング 結果

##### 《路線バス》

- 補助金を前提とした路線維持
- ・補助基準を下回る路線の廃止
- 運転手等の担い手不足の顕在化
- ・路線維持に必要なギリギリの体制
- ・高齢化、待遇状況に伴う新規雇用が困難

##### 《鉄道》

- 利用が少ない時間帯の列車運行取止め
- 利用が少ない駅の廃止

##### 《タクシー(特に郡部)》

- 事業譲渡なく廃業する事業者の増加
- ・担い手不足・高齢化、跡継ぎ不在
- 地方部タクシー事業者のタクシー事業単体による経営困難(スクールバスやデマンド交通の業務委託による経営維持)

#### 問題点

- バス路線の維持に伴う市財政負担の更なる増大
- 担い手不足に起因する路線バス運行困難の恐れ

- 減便・廃駅に伴い鉄道が利用できなくなった利用者の足の確保
- ※代替バス運行、路線バス乗継の利便性向上などバス交通に依存(バス運行体制維持)

- 地方部の「生活の足」の担い手であるタクシー事業者の事業継続が懸念

#### 課題

- ①路線バスの運行効率化による最小限の公共交通サービスレベル確保⇒(例:ゾーンバス 等)
- ②地域公共交通の維持に不可欠な担い手の確保⇒(例:運転手不足への対応、郊外事業者の事業継続支援 等)
- ③路線バスの維持困難な地域における新たな輸送手段の導入検討⇒(例:デマンド交通、公共ライドシェア等)

# 釧路市地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

## ●事業の結果概要

### ○バス需要量の予測

地域公共交通計画策定に関する調査の一環として別途実施した住民アンケート結果および人流データを基に、路線バス需要量の予測を進めている。

下記データを活用して地域・地区およびバス停単位でのバス乗降者数を整理

- ・人流データによる地域別流動把握
- ・目的別時間帯別バス乗降者数、バス分担率(住民アンケートより)
- ・路線別輸送実績、バス乗降実態把握調査結果

### 【現況における各路線のバス停別乗降客数を推定手順イメージ】

#### ①人流データによる地域間流動の推定

- ◆人流データを活用して**地域間の流動状況**を整理



#### ②地域間バス流動の推定

- ◆住民アンケート調査結果より整理する地域毎の**移動目的(通勤・買い物等)の構成比**、目的別の**バス分担率**より、**地域間バス乗降者数**を推定。さらに目的別に**時間帯別の乗降者数**を推定



#### ③バス路線別・地域間別乗降客数の推定

- ◆地域間バス乗降者数をバス路線別に割り振り、路線別バス乗降客数を推定する。
- ・各路線のバス停位置から、**該当する地域間OD**を特定
- ・運行便数をもとに**地域間のバス乗降客数**を割り振り、**路線別の乗降客数**を推定

#### ④乗降客数の補正

- ◆**バス乗降実態調査結果**(2路線実施)と路線別の**輸送実績**(年間値)をもとに**補正率**を算出し、**人流データと実績値とのギャップ**を補正  
(※バス乗降実態把握調査を行った2路線については、調査結果の活用を想定)

人流データベースの推定値

実績値による補正

※今後は、専門部会および協議会での検討を経て、基礎調査報告書を最終的に取りまとめる。

# 釧路市地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

## ●地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針

- 次年度以降、調査結果を基に公共交通のサービスレベルを設定し、バス路線の再編案の検討を進める。
- 将来のバス需要量と現況のバスダイヤを照合し、路線ごとの収支状況を整理するとともに、赤字・黒字路線及びその度合いを明確にする。あわせて、設定した公共交通サービスレベルとの照合を行い、サービスが不足しているバス路線及び高いサービスが提供されている路線を明確にする。
- これらの結果を踏まえ、路線別バス便数の見直し、路線バスルートの見直し、交通拠点の更新、小型バス、デマンド交通、ライドシェアの導入等、新たな公共交通サービス案の検討を行う。

## ●事業実施の適切性

計画通り事業は適切に実施された。

## ●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

- ・検証が予定どおり行われ、課題の整理が出来ている。
- ・今後、バス需要量予測に基づく新たな公共交通サービス案を着実に立案し、利便増進実施計画を確実に作成いただきたい。
- ・なお、その際には、公共交通事業の収支率や公的資金投入額などの事業効率の改善等についても検証していくことをご検討いただきたい。